

# 特色ある教育活動

## ◇「外国語指導」について

・1、2年生は11時間の「英語に親しむ時間」、3、4年生は35時間「外国語活動」、5、6年生は70時間の「外国語」を行う。学級担任やALT、友達、九段幼稚園児との関わりを通して4技能5領域について系統的・段階的に育成する。

## ◇「総合的な学習の時間」の各学年のねらい

【3年】友達と協力しながら、よりよい問題解決を通して自分の考えをもち、学習活動の中で生かそうとする力を育成する。

- ・大すきわたしのまち（ちよだ楽）
- ・大豆大好きプロジェクト
- ・九段ファミリー（異年齢）交流
- ・昔の道具、未来の道具

【4年】情報収集の仕方やまとめ方を身に付け、事象を比較したり要因を考えたりしながら自分の考えをもち、学んだことを生活の中に積極的に活用する力を育成する。

- ・人にやさしいまち千代田
- ・防災プロジェクト
- ・今までの自分・これからの自分
- ・保田大発見

【5年】様々な調査活動を行い、物事を多面的に捉えることで自分なりの考えをもち、人や物と自分との関わりを関連付けていく力や相互評価、自己評価する力を育成する。

- ・社会に挑むチカラ（探究学習）
- ・孀恋大発見
- ・九段ファミリー（異年齢）交流
- ・10年後の未来予想図

【6年】情報収集や調査活動を行い、自分の考えを深め、見通しをもって課題解決することを通して自分と社会との関わりを多面的に見つめ直し、よりよい生き方を探究していく力を育成する。

- ・社会に挑むチカラ（探究学習）
- ・日光大発見
- ・世界の国々について調べよう
- ・九段ファミリー（異年齢）交流
- ・卒業研究～自分を見つめよう～

【全学年】タブレット端末を活用し、調べ学習を効果的に進めたり、グループや全体で情報を共有したりする。また、相互交流で学んだことを広げたり深めたりすることで思考力・判断力・表現力を育てる。

## ◇「特色ある教育活動」の具体的内容、方法について

- ・各学期で俳句に取り組み、句会を通じて豊かな人間関係を構築する。【全学年】
- ・循環型ビオトープ（屋外・屋内）を通じて、都会における自然の営みに築く。【全学年】
- ・「ちよだ楽」の取組として、地域の歴史と伝統を調べ、地域のよさを発信し、地域の一員としての自覚をもつ。【全学年】
- ・区一斉清掃の活動を大妻女子大学や地域、関連企業と連携し、フラワーロードに花を植え付け、地域の美化活動に取り組む。（「学校2020レガシー」ボランティアマインド）【全学年】
- ・各教科や総合的な学習の時間に情報教育を位置付け、情報モラルの学習やタイピング技能等のICT機器操作の向上、プログラミングの学習を行う。【全学年】
- ・作文の指導を充実し、年度末は文集「九段のこども」に全員の作文を掲載する。【全学年】
- ・外国語に親しみ、言語や文化への興味や関心を高め、豊かな人間関係の醸成と就学前からのコミュニケーション

ン能力を充実するために、九段幼稚園の園児と本校の子どもたちとの交流プログラム「えいごでなかよし」を実践する。※幼稚園では「えいごであそぼう」と呼称する。【1、5、6年】

・11月と2月の東京グローバルゲートウェイ（TGG）での体験活動や交流活動を通じて、コミュニケーションの基礎を養う。【5、6年】

・地域と連携し、地域の貴重伝統文化を継承していくために、「九段囃子」、「九段プラネッツ(器楽クラブ)」「九段WINDS（バスケットボール）」の活動を推進する。【3～6年】

### ◇体力向上に関する指導の具体的な内容や方法

・コーディネーショントレーニング研修修了者を中心に、体育科において、体力向上に向けた取組を継続して行う。

・体育健康教育を推進するために、健康、食育、体力の向上に向けた取組を専門家を招いて実施し、学びの質を高める。

・世界陸上観戦を通して、スポーツの魅力を知るとともに、異なる文化や外国、自国への関心を高める。（「学校2020レガシー」スポーツ志向・日本人としての自覚と誇り・豊かな国際感覚）【6年】

### ◇クラブ活動と児童会活動について

・クラブ活動は、4年、5年、6年生の児童で構成し、月1回（45分間）、年間10回の活動を行う。

・委員会活動は、5年、6年生の児童で構成し、月1回（45分間）、年間11回の活動を行う。

・「子ども同士、教師、保護者、地域」等様々な人と関わり合っ活動する「ワッハッハの日」や縦割り班活動の「フレンズタイム」を行事として年10時間実施する。

### ◇研究について

【国際理解教育の推進】

・研究主題

「世界にはばたく 九段の子」～「人・もの・こと」との関わりを重視した授業づくり～

・令和8年度 研究発表会を実施する。

### ◇自殺予防教育について

・健全育成と自殺予防に向けた教育を推進するために4、5、6年で各学期1回、授業を実施する。